学校環境衛生基準に対応する測定機器





リオンテック株式会社

東京都立川市錦町1-23-1

Tel 042-523-6901 Fax 042-523-6903

小社への学校環境衛生の問い合わせ

- 教室の換気改善方法 (全学校の冷房化へ)
- 快適性の評価法 (温度、湿度、気流測定)
- ・ 化学物質の汚染(VOCs)
- ・ 騒音評価の方法
- ダニアレルゲン測定
- ・ 学校給食へのATPの応用
- 飲み水の水質管理蛇口回帰(タンクレス) 加圧方式へ
- エコスクールと学校環境の関連性

学校環境衛生基準

検査項目		基準	方 法		定期検査回数	
(1)換 気	換気の基準 望ましい	二酸化炭素 ≦1500ppm	二酸化炭素は検知管法又は 同等以上の方法		毎学年2回 定期に行う	
(2)温 度	10 ~ 30°C	望ましい	アスマン通風乾湿計又は同上		Z M IICII J	
(3)相対湿度	30~80%	望ましい	同上			
(4)浮遊粉じん	≦0.10mg/m	1 ³	Low-Vol法又は <u>相対濃度計</u>			
(5)気 流	≦0.5m/秒	望ましい	カタ温度計又は微風速計			
(6)一酸化炭素	≦10ppm		検知管法又は <u>同等以上の方法</u>			
(7)二酸化窒素	≦0.06ppm	望ましい	ザルツマン法又は <mark>同等以上の方法</mark>			
(8)揮発性有機化合物*						
ア. ホルムアルデヒド		≦100μg/m³	DNPH→HPLC			
イ. トルエン		≦260μg/m³	GC/MC法		年回1回	
ウ. キシレン		≦870μg/m³	同上		定期に行う ウ~カは必要と認める場	
エ. パラジクロロベンゼン		≦240μg/m³	同上	合実施する		
オ. エチルベンゼン	オ. エチルベンゼン		同上			
カ. スチレン		≦220μg/m³	同上			
(9)ダニ又はダニアレルゲン	,	100 匹/m² 以下又はこれと 同等のアレルゲン量以下で あること。	匹数計測法、酵素免疫法(ELISA法) ELISA簡易測定法		:年1回 Iに行う	
(10)照度		教室の照度の下限値は300Li 教室内の等価騒音レベルは深ましい。	x、黒板は500Lx以上。 窓閉時50dB以下、窓開時55dB以下が望		:年2回 Iに行う	

小型の温湿度計

ポケットサイズ温湿度計

ロッキング機能も内蔵し最新高性能

センサ 湿度…高分子静電容量式湿度センサー 温度…半導体式温度センサ

測定範囲 湿度 0~100%RH

温度 -10~50℃(一体形)

-40~80℃(分離形、プローブ形)

データ表示 月、日、時、分、相対湿度 または露点温度測定値



価格 ¥29,000

デジタル温·湿度計 RT-40

ハンディタイプ温湿度同時表示

温度-20~+85℃ 湿度5.0~95.0Rh

電源 9V乾電池 約120時間 大きさ 73(W)×168(H)×33(D)mm 重さ 200g(電池含む) プローブ 20φ×220mm ケーブル長 920mm



価格 ¥35,000

デジタル照度計

RT-30 JIS-C1609一般A級準拠

LUX:0~200,000

精度: ±7%

電源:DC 9V 006P×1

重量:230g



価格 ¥22,000

KANA-0010 JIS-C1609一般A級適合

LUX:0~40,000

精度:±5%

電源:単4乾電池×2

重量:100g



価格 ¥29,800

学校の騒音には

普通騒音計 NL-27

JIS C 1509-1



 Leq
 等価

 を測ります

学校基準

窓あけ 55dB以下

窓閉め 50dB以下

価格¥146,000円(検定付)

CO₂ 計 (RT-50A1 RT) ついて

●空気質環境(CO₂濃度、温度、湿度)の定期測定時に 連続的、自動的に簡単に時間的な変化の把握ができる

また複数の測定点のデータ収集が可能 (定期測定報告書の作成が容易である)

- 専用ソフトにより学校環境衛生基準に定める 換気回数の把握が容易にできる
- ●特定建築物や住宅などの空気環境調査にも利用可能

日本学校保健会 学校保健用品推薦品

RT 製品

7

教室の換気測定

NDIR方式

CO2連続データをPCによる統計処理

RT-50A-1





CO₂-IAQモニター(大型)

• 学校教室 ・オフイスなどに

CO₂測定範囲

O∼5,000ppm

8



価格¥150,000

リオンテックオリジナル製品

価格 ¥90,000

ホルムアルデヒド、二酸化窒素両用検査器 FP-31B

燃焼器具によるNO2の発生量のチェックに!



FP-31B 価格 ¥130,000 日本学校保健会 学校保健用品推薦品

本器1台でタブ交換することによって ホルムアルデヒドと 二酸化窒素を測定できます

学校基準

HCHO $\leq 100 \mu g/m^3$ NO₂ $\leq 0.06 ppm$

リオンテック オリジナルの測定器

ホルムアルデヒド専用検知器 FP-31 価格 ¥75,000

GX-6000RT(仮称)(3検知・リアルタイム)

```
1. TVOC、揮発性有機化合物
```

```
(PID方式) (0~50, 000 ppb)
```

- 2. Co、一酸化炭素 (定電位電解式)(0.1ppm)
- 3. O2、酸素 (ガルバニ電池式)(O.1vol%)

価格 ¥280,000



TVOC計



シックハウス症候群に由 来する揮発性有機化合物 (6物質)の事前測定に

総揮発性有機化合物 (TVOC)の測定を!

> 価格 ¥198,000 (本体一式)

微風速計

教室の快適性の評価に気流測定も

微気流の測定にWGT-10

カタ計 → 微気流測定

- JIS T8202
- USBによるデータ出力



JIS T8202

• 風速•温度同時表示

プリンタ内臓RT-20P



価格 ¥210,000

デジタル粉じん計

重量法 • 個数法(参考測定)

LD-3S型 **≦**0.10mg



ハ[°]ーテクルカウンター KC-51

微粒子の子供への

人体影響が課題です

粉じんはその粒度分布 も見ることも重要です

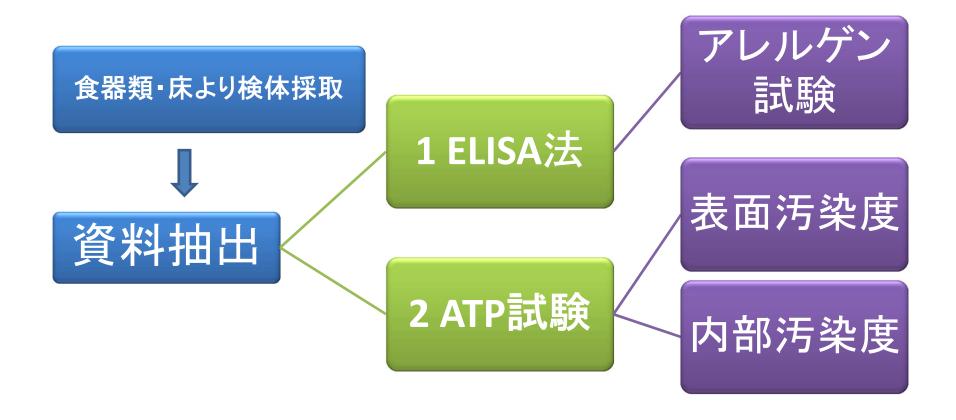
粒径区分	3段階:0.3、0.5、5.0 μm以上
光源	半導体レーザー
大きさ	304(H)× 87(W) × 55(D)mm (突起物を除く)
重さ	約780 g

学校は1CPM にK値≒0.035の採用 事務所≒0.013

価格 ¥218,000

価格 ¥390,000

生物学的な汚染度を現場で知る



ダニアレルゲン 検査方法

ダニ簡易検査キット マイティチェッカー

学校環境衛生基準適合品



リオンテック 発売元 5回分 価格 ¥7,000円(税別)

屋内塵性ダニ簡易検査キット ダニスキャン 学校環境衛生基準適合品



判定2 多少汚染されています。

・週に1度はきちんと掃除をし、とくに梅雨時などは通気に気をつけましょう。

判定2~判定4は汚染

- ダニが繁殖する環境条件
 - ・温度20から30°C ・湿度 ≥60%
 - 人のアカ、フケ ・ 布団、カーペット(卵)
- 1 測定したい範囲1㎡を採取部でまんべんなくこする
- 2 揉む現像液を取り出す
- 3 採取部に現像液を5~6滴をたらす
- 4 15分間待って発色程度を見る

発売元:リオンテック株式会社

価格 5回分1箱 :¥7,000-

学校給食施設等への対応

ATPふき取り検査

ATP-hygiena

食品衛生検査指針「微生物編収載」



拭き取り検査



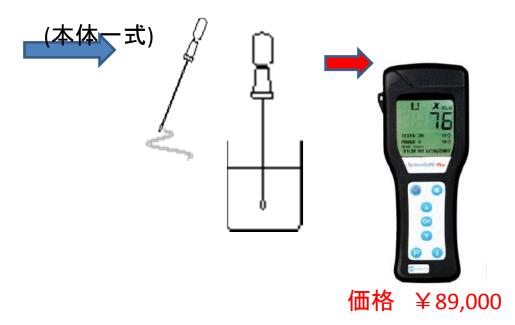
学校•給食施設•食品工場•

生鮮食品•外食産業

公共施設・ビル管理・ホテル・水関係

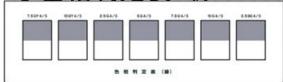


培地不要



黒板検査用色票色見本

- 学校の黒板は、文部科学省の 「学校環境衛生の基準」の規定に よって、定期的な検査を行い、基準以 下のものは速やかに改善しなければ なりません。
- この色票は、黒板の色彩が基準内 か基準以下に劣化しているかを判 定する為の色票です。
- 検査は、<u>毎学年1回</u>の定期点検を 行うようにきめられています。
- 色相判定表 例

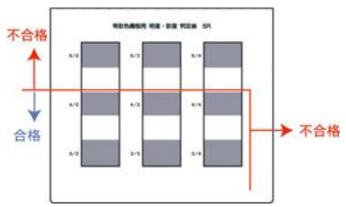


価格 ¥30,000

村上色彩技研より

●色票色見本





残留塩素測定器

デジタル残留塩素計 HI 701 全塩素計 HI711

遊離残留塩素の測定に



試薬キットに代わるデジタル測定器です。

目視検査ではないので誰が測定しても同じ結果が得られます。

用 途: プール・温泉の衛生、殺菌、水道水、飲料水等の計測

測定範囲: 0.00~2.50ppm (mg/L) **DPD法** 価格¥9,800

ポータブル残留塩素計/濁度計 色度計 HI93703B WA-PT-4DG

簡単操作で高精度 各種

飲料水・プール水用 (遊離残留塩素) (全塩素)

0~1000FTUの広範囲をカバーす

● る 高精度のポータブル濁度計

発光源:赤外線LED

測定範囲:

0.00~50.00:50~1000FTU

精度:

±0.5FTUまたは測定値の±5%価格:¥115,000(税抜) (どちらか大きい方)

デジタル濁色度計

価格:¥95,000

濁度:0~20 色度:0~50 検水量:10mL



まとめ 学校環境の測定の今後

- 1 測定の効率化
- ①個々の測定法から 簡易測定器の活用 → PC利用の自動測定へ
- ② VOCs・アレルゲン・騒音測定 各種の新測定法の利用
- 2 教室の施設改善への提言を 測定データの活用 学校長あて「報告書」の同時作成

ご清聴有り難う御座いました リオンテック(株)

ご連絡は 042-523-6901 www.riontec.com